公益社団法人日本ダンス議会 ラテンダブルス競技規程

【1】基本ルール
1．２人１組のペアとする。
2．同性同士のペアとする。

【2】競技スタイル
ベーシック部門(シンクロ部門)とエキシビション部門の２部門を採用する。
1．ベーシック部門(シンクロ部門)
（1）チャチャチャ、サンバ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブの定められた５種目
（2）フィガーは「THE LAIRD TECHNIQUE OF LATIN DANCING」に記載のステップ、またはISTDのテクニックブックの参照も可能
（3）２人が同じ振り付けを踊ること。
（4）ペア同士の接触(入退場や転倒などによるサポートを除く)は原則禁止する。
2．エキシビション部門
（1）チャチャチャ、サンバ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブの定められた５種目
（2）ベーシックフィガーを含むラテンアメリカンの範囲内においてどんなステップも使用可能
（3）全体の半分以上は接触（手を繋いだり肩に手を置くなど）の無いシングルで踊るステップであること。
（4）相手を回転させる等の明らかなリード行為を用いた場合、同じステップを用い役割を入れ替えて行うこと。
（5）以下の行為は原則禁止する。
①フロアに寝る
②フロアに３秒以上膝をつく
③相手を持ち上げる（リフト）
④フロアに手をついたまま踊る
⑤他の選手の危険になるような高いロンデ

【3】競技カテゴリー
●アマチュア※
●アマプロ
※大会ごとにエントリー区分が異なる。

【4】服装規定
1．衣装は原則としてデザインまたは色の統一で、ペアとして認識できるものを着用すること。
2．シューズは社交ダンスのシューズを使用すること。

【5】審査基準
1．両部門ともフットワーク、ヒップムーブメント、ベーシックリズムの理解などのラテンアメリカンの審査基準に準ずる。
2．審査基準の一つである同調性については以下の点において異なる。
ベーシック部門(シンクロ部門)
・タイミング、ダイレクション、アームワーク、顔の向き等が揃っているかを審査する。
ベーシック部門においてはこの同調性が重要視される。
エキシビション部門
・タイミング、ダイレクション、アームワークなどは審査対象だが、顔の向きについては同調性の審査対象とせず、アイコンタクトによるペアのコミュニケーションスキルを審査対象とする。
但し、いかに２人が同調していても基本的なリズムが外れていた場合は評価は下がる。

【6】採点方法
スケーティングシステムを採用する。

【7】申し込み方法
事前にシラバスが告知され、そのシラバスに記載された申し込み方法に従うこと。

以上